



プレシジョン・システム・サイエンス 4

上昇するBV

リーマン・ショック後、低迷がなお続く東京株式市場で今、バイオベンチャー(BV)株の逆行高が市場関係者から注目されている。いちよし経済研究所が主要BV11社の株価を基に算出した「バイオベンチャー株価指数」は今年5月時点で、2008年9月のリ

ーマン・ショック直前に比べて3倍近くに上昇した。いちよし経済研究所企業調査部主席研究員の山崎清一は「収益の改善が目立つ国内BVを機関投資家が無視できなくなってきた」と指摘する。

背景には、抗体医薬品やワクチンといった「バイオ医薬」へと開発のリソースを移しつつある製薬大手が、バイオ医薬の開発で一定の成果を上げているBVとの提携を積極化している現状がある。00年初頭のバイオベンチャーバブルから10年。「バイオはもう

技術結び、バイオ産業化に道

新技術でアレルギー解析



特許の当社が「アレルギー解析」に当社の「LUBE」を特許している」と語る田島社長

移管した。グループの特許出願・管理を担っていたUBRに研究開発機能を与えることで、保有する知的財産を活用した他社との共同研究や業務提携を加速する構え。国内外の研究者や企業と組んでコンテナを入手し、自社の自動化技術に組み込んでいく。そして「迅速、正確、しかも簡易

解析する「LUBE」。

同社の新技術「BIIST」を使って、BIISTは「ここに自分の才能があると思ってる」とも語る。

「僕は研究者でもないし、非常に深い技術を持っていない技術者でもない」と言う田島。だが、将来必要となりそうな技術を見抜く目は確かだ。「いろいろな要素技術を理解し、システムを通じて結びつける。そこに自分の才能があると思ってる」とも語る。

「アイデアが出過ぎて社員が困るほど」と屈託なく笑う田島の目には、すでにバイオ産業の10年後、20年後の未来が映っているのかもしれない。(敬称略)

医療への可能性

「迅速、正確、しかも簡易解析する「LUBE」。